

改正後

6. 森林整備

工種	項目	規格値 (mm)	測定基準	摘要
本数調整伐	伐倒本数	+ 5% - 0	施工ブロックごとに全数管理。	管理方法 ①作業班の作業日報 ②ナンバーテープ等証明出来るものであれば内容は問わない。
	本数	± 0%		
枝落とし	高さ	- 0	施工ブロックごとに全数管理。	管理方法 ①作業班の作業日報 ②ナンバーテープ等証明出来るものであれば内容は問わない。
	h			
枝落とし B	高さ h	- 0	標準地*1 内対象木の平均枝下高 *1 - 施工ブロックごと1箇所 - 2haを超える場合は1ha増す毎に1箇所追加 - 10m×10m	管理方法 ①作業班の作業日報 ②ナンバーテープ等証明出来るものであれば内容は問わない。
防風工 (丸太柵)	資材 形状、寸法	設計値以上	施工延長20m毎に1スパン測定する。 最低2スパン測定する。	
	止杭根入れ t	- 0		
	柵高 H	- 50		
	施工総延長 L	- 0		
防風工 (竹柵)	資材 形状、寸法	設計値以上	施工延長20m毎に1スパン測定する。 最低2スパン測定する。	
	支柱根入れ h	- 0		
	柵高 H	- 50		
	施工総延長 L	- 0		

※除伐の測定基準については枝落としBに準じる

現行

6. 森林整備

工種	項目	規格値 (mm)	測定基準	摘要
本数調整伐	伐倒本数	+ 5% - 0	施工ブロックごとに全数管理。	管理方法 ①作業班の作業日報 ②ナンバーテープ等証明出来るものであれば内容は問わない。
	本数	± 0%		
枝落とし	高さ	- 0	施工ブロックごとに全数管理。	管理方法 ①作業班の作業日報 ②ナンバーテープ等証明出来るものであれば内容は問わない。
	h			
防風工 (丸太柵)	資材 形状、寸法	設計値以上	施工延長20m毎に1スパン測定する。 最低2スパン測定する。	
	止杭根入れ t	- 0		
	柵高 H	- 50		
	施工総延長 L	- 0		
防風工 (竹柵)	資材 形状、寸法	設計値以上	施工延長20m毎に1スパン測定する。 最低2スパン測定する。	
	支柱根入れ h	- 0		
	柵高 H	- 50		
	施工総延長 L	- 0		

改正後

6. 出来形管理写真（森林整備）

撮影区分	撮影事項	撮影対象	撮影の要点及び注意事項
森林整備	施工地全景	工事着手前 工事完成時	・ 工事施工ブロックごとに工事着手前の現況と、工事完成時の状態が対比して確認できるように、位置を固定して同一箇所から局部及び全景写真を撮影する
	施工面積	測量	・ 測量作業及び測点杭の設置状況がわかるように撮影する。
植栽工	地 拵	伐開、筋置 林内整理	・ 植栽地の雑木竹等の伐開、筋置、林内整理状況がわかるように撮影する。
	山行用苗 植付け	植付け本数	・ 苗木の樹高、幹回の測定状況がわかるように、測定尺を当てて撮影する。 ・ 施工ブロックごとに20m×20m=400㎡のプロットを設置し、プロット内の植付け本数が確認できるように番号等を表示して撮影する。また、プロット内で植穴の幅、高さがわかるように、測定尺を当てて撮影する。
植栽工	大苗、中苗 小苗、株物	樹高、幹回り 枝張、葉張	・ 大苗、中苗は樹種ごとに、樹高、幹回り、枝張りが確認できるように測定尺を当て、局部及び全景を撮影する。 ・ 小苗、株物は樹種ごとに、樹高、葉張り、株立数が確認できるように測定尺を当て、局部及び全景を撮影する。 ・ 植穴の幅、高さがわかるように測定尺を当てて撮影する。 ・ 1本当りの肥料の計量状況及び施肥の状況を撮影する。 ・ 支柱材料を種別ごとに、規格、寸法がわかるように、測定尺を当てて撮影する。 ・ 植栽木への支柱の取付け状況がわかるように撮影する。
森林整備	本数調整伐	伐倒本数	・ 伐倒、枝払い、玉切り、林内整理作業の施工状況がわかるように撮影する。 ・ 施工ブロックごとに伐倒本数の1%以上撮影する。(根株等に番号を表示する)
	枝落とし	枝落とし本数 枝落とし高さ	・ 枝落し作業の施工状況がわかるように撮影する。 ・ 施工ブロックごとに20m×20m=400㎡のプロットを設置し、プロット内の枝落とし本数及び枝落とし高さが確認できるように番号を表示し、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。
	枝落としB	枝落とし高さ	・ 枝落し作業の施工状況がわかるように撮影する。 ・ 枝落とし高さが確認できるように番号を表示し、測定尺を当てて拡大及び全景を撮影する(拡大は1標準地につき3本程度)
防風工	丸太柵 竹 柵	材料	・ 材料搬入時に、種別ごとの検収状況及び形状、寸法がわかるように測定尺を当てて撮影する。
		止杭、支柱の 根入れ	・ 杭に予め目盛をつけ、杭を打込んだ時点で根入れ長が確認できるように、測定尺を当てて撮影する。 ・ 施工箇所ごとに、柵高、支柱等の間隔、施工延長の出来形が確認できるように、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。 ・ 防風柵設置作業の状況がわかるように撮影する。
柵 工	丸太柵工	材料、柵高 杭根入、延長	・ 共通工事の柵工に準じて撮影する。
防護柵工	鹿ネット工	材料	・ 材料搬入時に、種別ごとの検収状況及び形状、寸法がわかるように測定尺を当てて撮影する。 ・ 施工箇所から数スパンを抽出し、柵高、支柱等の間隔、施工延長の出来形が確認できるように、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。
作業路 作業歩道	土 工	幅員、延長 敷砂利幅、厚	・ 鹿ネット設置作業の状況がわかるように撮影する。 ・ 起点、終点、中間点の幅員、敷砂利幅、厚さ及び施工延長の出来形が確認できるように、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。

※除伐については枝落としBに準じる

現行

6. 出来形管理写真（森林整備）

撮影区分	撮影事項	撮影対象	撮影の要点及び注意事項
森林整備	施工地全景	工事着手前 工事完成時	・ 工事施工ブロックごとに工事着手前の現況と、工事完成時の状態が対比して確認できるように、位置を固定して同一箇所から局部及び全景写真を撮影する
	施工面積	測量	・ 測量作業及び測点杭の設置状況がわかるように撮影する。
植栽工	地 拵	伐開、筋置 林内整理	・ 植栽地の雑木竹等の伐開、筋置、林内整理状況がわかるように撮影する。
	山行用苗 植付け	植付け本数	・ 苗木の樹高、幹回の測定状況がわかるように、測定尺を当てて撮影する。 ・ 施工ブロックごとに20m×20m=400㎡のプロットを設置し、プロット内の植付け本数が確認できるように番号等を表示して撮影する。また、プロット内で植穴の幅、高さがわかるように、測定尺を当てて撮影する。
植栽工	大苗、中苗 小苗、株物	樹高、幹回り 枝張、葉張	・ 大苗、中苗は樹種ごとに、樹高、幹回り、枝張りが確認できるように測定尺を当て、局部及び全景を撮影する。 ・ 小苗、株物は樹種ごとに、樹高、葉張り、株立数が確認できるように測定尺を当て、局部及び全景を撮影する。 ・ 植穴の幅、高さがわかるように測定尺を当てて撮影する。 ・ 1本当りの肥料の計量状況及び施肥の状況を撮影する。 ・ 支柱材料を種別ごとに、規格、寸法がわかるように、測定尺を当てて撮影する。 ・ 植栽木への支柱の取付け状況がわかるように撮影する。
森林整備	本数調整伐	伐倒本数	・ 伐倒、枝払い、玉切り、林内整理作業の施工状況がわかるように撮影する。 ・ 施工ブロックごとに20m×20m=400㎡のプロットを設置し、プロット内の伐倒本数が確認できるように根株等に番号を表示して撮影する。
	枝落とし	枝落とし本数 枝落とし高さ	・ 枝落し作業の施工状況がわかるように撮影する。 ・ 施工ブロックごとに20m×20m=400㎡のプロットを設置し、プロット内の枝落とし本数及び枝落とし高さが確認できるように番号を表示し、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。
防風工	丸太柵 竹 柵	材料	・ 材料搬入時に、種別ごとの検収状況及び形状、寸法がわかるように測定尺を当てて撮影する。
		止杭、支柱の 根入れ	・ 杭に予め目盛をつけ、杭を打込んだ時点で根入れ長が確認できるように、測定尺を当てて撮影する。 ・ 施工箇所ごとに、柵高、支柱等の間隔、施工延長の出来形が確認できるように、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。 ・ 防風柵設置作業の状況がわかるように撮影する。
柵 工	丸太柵工	材料、柵高 杭根入、延長	・ 共通工事の柵工に準じて撮影する。
防護柵工	鹿ネット工	材料	・ 材料搬入時に、種別ごとの検収状況及び形状、寸法がわかるように測定尺を当てて撮影する。 ・ 施工箇所から数スパンを抽出し、柵高、支柱等の間隔、施工延長の出来形が確認できるように、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。
作業路 作業歩道	土 工	幅員、延長 敷砂利幅、厚	・ 鹿ネット設置作業の状況がわかるように撮影する。 ・ 起点、終点、中間点の幅員、敷砂利幅、厚さ及び施工延長の出来形が確認できるように、測定尺を当てて局部及び全景を撮影する。